

あとがき

芳賀 徹 (「日本研究・京都会議」報告集編集委員会委員長・)
国際日本文化研究センター
HAGA Toru

1994年10月の「日本研究・京都会議」の報告論文集が、こうして全四巻の大冊として刊行されることとなった。国際日本文化研究センターとしては、本センターの創立七周年にしてはじめて、センターの研究部・管理部の全力をあげて取り組み、共催者国際交流基金の全面的な援助を得て、可能となった会議であった。その成果が、さまざまの事情によって100%といわずとも、およそ80%の報告論文の寄稿によって、こうして公刊され、記録として残されることとなったのは、まことによるこぼしい。

本報告集の刊行に当っては、日文研の研究部、管理部、および国際交流基金京都支部から選ばれた数名が、編集委員会を作ってこれを担当し、会議から一年半後という、この種の国際会議としてはむしろ珍しい短期間のうちに、全四巻約1,400ページの報告集の刊行が可能となった。国際交流基金京都支部長の終始かわらぬ熱心な御支援に対してと同様に、編集委員会の委員各位に対して、京都会議実行委員会副委員長・同論文編集委員会委員長として、ここに心からの感謝の意を表わさずにはいられない。

日文研の創設者にして初代所長梅原猛教授の長年の夢は、この94年京都会議によって予想以上の規模と密度において実現された。次の「日本研究・京都会議」の実行は、6年後、8年後、10年後と、さまざまな希望の声、京都会議'94最終日の総括討論において挙げられたが、はたしていつとなるのか。その年の西京桂坂での再会をいまから楽しみに待つこととしよう。

なお、編集委員会の委員は、次のとおりである。

「日本研究・京都会議」編集委員会名簿

1996年1月現在

国際日本文化研究センター	教 授	芳賀 徹	委員長
〃	教 授	濱口 恵俊	委 員
〃	教 授	園田 英弘	委 員
〃	助 教 授	柏岡 富英	委 員
〃	助 教 授	早川 聞多	委 員
国際交流基金	京都支部長	荻野 崇一郎	委 員
国際日本文化研究センター	研究協力課長	金城 孝夫	委 員